

令和4年度 佐賀県立学校運営協議会 準備委員会 意見交換（ワークショップ）

テーマ：今の鹿島高校に期待したいこと

1. 学校に期待すること
2. 生徒に期待すること

3部会（地域連携部会・キャリア教育部会・学校評価部会）に分かれて検討を行い、討議内容を全体で共有した。集約した結果を下記に示す。今後、出された意見を参考に、SCSの活動を進めていく。

1. 学校に期待すること

①コミュニティ・スクール（以下CS）について

- ・CSの活動を校内で共有してほしい
- ・先生方にも積極的にかかわってほしい
- ・高校としてCSに期待することを一言で表せるようにしてほしい。
- ・各部会に期待することを明確にしてほしい

②情報発信について

- ・活躍している卒業生の発信を
- ・情報発信をSNSなどでできないか（個人情報に配慮しつつ）
- ・学校内外の取り組みを紹介すること
- ・鹿島高校のブランディングを

③地域貢献・連携について

- ・地域教育のリーダーになってほしい
- ・地域の魅力、地域資源の豊かさを教え、地元愛をもった生徒の育成
- ・地域と連携して生徒たちの学校外での活動の場を増やしてほしい
- ・県南西部の拠点として活躍してほしい
- ・鹿島市の頭脳集団として地域に貢献してほしい
- ・学校内外との接点、地域社会とつながっている学校
- ・学び方を小→中→高つないでいるのか、どんなことを学んでいるのか、小中校へ出張
- ・OB・OGとつながっている学校

④教育活動について

- ・生徒たちがキャリアを積んでいく上での実習手段など効率の良い方法を検討し、与えてほしい
- ・世の中の正解のない課題に自分事として考える生徒の育成
- ・多様性に応えられる学校
- ・学校で教えてくれないことを教える教育
- ・地域外のことを学べる環境
- ・鹿島高校にしかない部活・授業・プログラミング授業
- ・不登校の子供の居場所づくり
- ・思いやりのある生徒に育ててほしい
- ・生徒たちが求めるやり方、アイテムなど広い心で受け止め、思いに応えるよう努力してほしい
- ・生徒たちの心に寄り添ってほしい
- ・教師の教育
- ・希望を否定しない

## 2. 生徒に期待すること

### ①国際的視野

- ・世界を相手にできるような人間になってほしい
- ・世界に目を向けてほしい
- ・日本を動かすリーダーになってほしい
- ・国際交流をしてほしい
- ・地方・都市・世界を隔てなく考える子供になってほしい

### ②地域貢献・地域愛

- ・ふるさとの良さを見つけ愛してほしい
- ・地域の企業や皆さんに元気を与えてほしい
- ・地域を愛してほしい
- ・地域の一員としての自覚を持ってほしい
- ・佐賀県鹿島市に定住して税金を納めてほしい
- ・地域のリーダーになって欲しい
- ・鹿島の自然、伝統、街並みを守ってほしい
- ・地域の子供たちに先輩として見本を示す
- ・鹿島高校の良さを地元の中学生・小学生に伝えてほしい
- ・ボランティア活動や地域とつながる活動をしてほしい
- ・社会で活躍している大人との交流
- ・OB・OG とつながる

### ③資質能力の育成について

- ・知らない人ときちんと話をできるようになって欲しい（とびらプロジェクトから）
- ・社会人としての資質を身につけてほしい（礼儀、コミュニケーション）
- ・知識を深め、選択できる力をつけてほしい
- ・勉学・部活動などを通じて自分の適性について考えてほしい
- ・自分で考え行動することの楽しさを知ってほしい
- ・色々な経験をして自分の好きなことを見つける
- ・夢・目標を持つ。具体的な職業だけでなく、○○のような大人・社会人になりたいも O.K
- ・生きる力、人間力を強く、社会に役立つ人間に
- ・もっと自由に意見を言ってほしい
- ・何か一つ一生懸命にやってほしい
- ・何事も自分事として考える力
- ・スマホ（SNS）などを使って情報発信をする力

### ④仲間・志

- ・友達をたくさん作ってほしい、仲間づくり、相談できる仲間
- ・自分を好きになって欲しい。誇りを持つ
- ・心の優しい生徒になってほしい（おもいやり）